

2011年9月号

通巻 573号



圓環

発行所 生長の家ブラジル伝道本部

発行人 村上真理枝

だい かい せい ちょう いえ ぜん こく たい かい 第25回ブラジル生長の家全国大会



Av. Eng° Armando de Arruda Pereira, 1266 - São Paulo

Tel.: (011)5014-2222 - Website: <http://www.sni.org.br> - E-mail: enkan@sni.org.br



「夜の時間を生かしましょう」

生長の家ラテン・アメリカ教化総長 向 芳夫

合掌ありがとうございます。
大聖師谷口雅春先生は夜の時間を生かす方法として睡眠前の考えが睡眠中 継続的に続けられますので、寝る前の神想観でそのアイデアをかみさまお願ひして置けば翌日良きアイデアに導かれる事になるとお教えくださいます。

従って夜寝る時間は無駄ではなく寝る前の神想観で翌日は問題を必ず解決できると言う信念をもって思念を集中すればそこに霊的小 生命体を引き寄せ、中心磁気力が生じ、夜休んでいる間に霊的生命体が私達の希望している用件を引き寄せて下さる事になるのです。生長の家の信徒でこのような体験は数多くあります。私自身も多く体験させて頂きました。

その一つを紹介致しますとラ・米伝道局 になった時、「未開発のラ・米諸国に生長の家の拠点が出来ますように」と毎日お祈りをしておりましたら、ある日一人の女性がラ・米伝道局にきて、「是非お願いが有ります。私はパナマ国から来たのです。すでにパナマで集会をしているが今後ラ・米伝道局で世話をしたい」といって、来られました。これを機にパナマ国の運動が始りました。

起きている時は、脳は目や耳から常に入ってくる情報に対応して、状況を判断して行動に結びつけようとします。どんなに頭の中で考える事に結びつけようとしても、起きている間は、思考が外部からの影響を受けて、一つの事に集中出来

ない嫌いがあります。寝ている時はそれがほぼ遮断されているのだそうです。脳の機能は夜休むかと言うと、そうではなく、外部からの情報が入らないから寝る前の考えを継続的に思考しておくので翌日考えがまとまっておることや新しい考えが与えられることが多いのだそうです。

寝ている時間も有効だと分かりましたらどの位休んだら好いかと言う事になりますが、出来れば最低6時間くらいは休む事が望ましいと言われております。寝る時間を減らす事は、記憶が定着される時間を少なくすることになり、さらに考えを整理する時間をへらすことになるのです。すると当然頭のなか整理されず、また寝不足であると当然翌日の能率にも影響して、その結果が物忘れや思考の混乱となって顕れることになるそうです。人によってその差はありますが、普通7-8時間休むのが理想的だと言われております。

最近読んだ本で寝る前に刺激的な映像をみたり、深刻な問題を考えたりすることを避け、それよりも穏やかな音楽を聴くか、心が落ち着く文章を読むのが好いと記されておりました。

生長の家ではたくさんの聖典や翻訳月刊誌がありますので、休む前に数ページ読むことや数多くのCDの講話が有りますのでそれらを聞いて神想観をして休むようにすればきっと安眠でき、さらに翌日新しいアイデアが浮かんできますので一挙両得になります。是非試してみてください。

再合掌



「ブラジルの独立記念日に思う」

生長の家ブラジル伝道本部理事長 村上真理枝

合掌、ありがとうございます。
9月7日はめでたいブラジルの独立記念日であり、ブラジルのあらゆる町ではブラジルがポルトガル国から独立し、一国の共和国として誕生した日を盛大に祝いますが、この日は独立に辿り着くまでに命を惜みず、ひたすらブラジルの将来を考えて頑張った有志に全国民が感謝の念を捧げる日ではないでしょうか。Tiradentes とか、詩人の Tomas Antonio Gonzaga や Cláudio Manuel da Costa、Rolim 牧師等はブラジルを愛するがゆえに独立運動を起こし、むなしく最後に命を落とされたのですが、今はブラジルの守護霊として守って下さっておられることでしょう。

ブラジル生長の家も、先駆者であられる松田巳代志先生をはじめ有数の草分け有志の皆様が実って今日のすばらしい運動があることを常に胸に留め、感謝報恩の気持ちで運動に臨むことが大切であると思います。ちなみに、今年のブラジル青年会全国大会は松田巳代志先生ご生誕100年を記念する大会として開催されましたが、青年が先駆者に感謝の想いを現すことはすばらしいことでもあります。この感謝の気持ちがある限り、青年会運動、生長の家の運動は安泰にすばらしく飛躍できるのであります。それは感謝の念は感謝を生み、それが循環して回る車の両輪の如く、前へ、前へと前進するからであります。松田先生を

偲ぶ時に思い出すことは、先生は谷口雅春先生作詩「生きた生命」を思い出させるエネルギーの塊のようなリーダーであったことです。「名乗れ、境遇に屈従する卑怯者は誰だ。誰がわが生命を食べ物でこね上げた塊だと思っているのだ（中略）境遇や運命の型に押しこめられて黙って引っ込んでいるような生物ではないのだ。圧迫すればあつぱくおそ、恐ろしい爆撃力となって鉱山をくつさく掘鑿するところの空気圧搾機の空気のようにどんな境遇でも、運命でも、時来れば猛然粉碎するを得る生命だ！」（後略）内在の神性を引き出させるすばらしい迫力のあるお言葉であります。たったお一人で始められた運動を勇気をもって「人類光明化運動」と名づけられた谷口雅春先生のように、松田先生にも「不可能」という言葉は存在しなかったからこそ、今日のブラジルの生長の家があるのであります。

今日のブラジルの発展の背後にはブラジルをひたすら愛し、ブラジルの為に身をなげうって尽くした先駆者が数多くあることはだれもが知ることですが、それらの先駆者の共通の特徴は勇気と断固たる使命感であったと思います。先駆者の皆さんのその意思をついで、私たちも常に勇気と信念に燃えて運動を展開し、次世代への模範として残しましょう。

再拝

第25回ブラジル生長の家の全国大会

テーマ：「愛と光を実現する喜びの生活」

聖市アニエンビー国際会議場に於いて、
去る7月3日（日）第25回・ブラジル
生長の家全国大会（日本語）が開催された。

週間気象情報によると、当日の天候は
寒波の襲来で雨が降り、寒くなる予報を覆し
て気温も下がらず、薄曇りの好天に恵まれた。

当日、日本語を良く理解出来ない参加者
のために別会場を設け、ポ語による講話も

行われた。
ブラジル全土より日語組織の会員及び別
会場の参加者も合わせて2,753名が参加した。

司会は青年部の高橋洋志さん（聖市第3）、
高橋雅夫さん（聖市第3）、カミラ・バスケ
スさん（聖市第1）、重松輝美さん（聖市第
2）が務めた。

午前7時30分、セントラル第2教化

支部の芝絨美講師の聖經 読誦によって始
まった。続いて、カンピーナス青年会とジュ
ニア会による感動ある太鼓の演奏、同じく
青年会とジュニア会による「よさこいソー
ラン節」の踊りで幕を開けた。聖歌「神を
讃えて」を斉唱後、午前9時、開会が宣言
され、拍手の中に今大会の指導者が登壇し、
ブラジル国旗、サンパウロ州旗、生長の家
聖旗、各連合会旗と代表者が入場し、ブラ
ジル、日本両国歌が斉唱され、「大調和の
神示」を生長の家ブラジル白鳩会副会長・
野中メイリ講師が朗読した。

今大会の指導者は、ラ・米教化総長・
向 芳夫本部講師、生長の家ブラジル伝道

本部理事長・村上真理枝本部講師、々副
理事長・寺前継雄講師、生長の家伝道本部
中央教化組織代表者会事務局長・高橋信
次本部講師、講師局 々長・宮浦準治本部
講師、清水幸子講師、横山寿彰講師、城代
洋 講師、ブラジル相愛会会長・田丸ルイス
講師、ブラジル白鳩会会長・リリアン・スジ・
バッフィ・ノリマツ講師、々副会長平島
峰子講師。

開会の挨拶は寺前継雄副理事長によって
行われた。

今年は松田巳代志先生のご生誕100
年にあたり、その功績を讃えてのDVDが
披露された。



たいかい だい こうわ かみ ひかり
大会の第一講話「神は光である」のテーマでパラ州の清水幸子講師、第二講話は「愛と真理によって更生せよ」は横山敏明講師によって行われた。

こうわ で、この世の全ての物は神様の自己実現であり、明るい心で神様と波長を合わせると常に良い方向へ導いて下さる。神は愛である。万物と調和し、万物と一体になったとき、そこに愛が表れると話された。

だい こうわ あと せいし だいやんみやはらかず こうし
第二講話の後、聖市第四宮原和子講師が体験談を行った。(体験談は10ページに掲載)。

だい こうわ あい かみ うんめい しゅうせい
第三講話は「愛の神による運命の修正」。高橋信次本部講師は『生命の実相』4巻をテキストに、良い運命を引き寄せたかったら、良いことをし、良い書物を読むことが大切である。人類光明化運動をして自分の潜在意識の中に良い事を刻み付ける。運命はすでに過去の念が潜在意識の中に刻まれていて、その念の自然的展開である。神想観する事によって運命を変える事ができ

げんしょう われわれ つく かみ せ かい
る。現象は我々が造るもので、神の世界では調整、修正する事が出来る。

ちゅうしょく まえ しろはとかいじん ゆうし だんたい
昼食前に白鳩会員有志による団体舞踊、中平まりこさんの歌謡などのアトラクションで午前の部は終了した。午後から清水権孝講師の体験談が行われた。

しみずまさかず こうし う
清水権孝講師はフィリピンで生まれ、12歳の時に家族で日本に戻り、1954年、当時胡椒で有名なトメアスに入り、一年後父親が土地を購入し独立。マラリアで苦しみ仕事もうまく行かなかった。サンパウロに出て来て本屋さんで、谷口雅春先生の「人生読本」に出合い心に光が点じられ、人生が好転した。健康も事業も全て自分の心が原因とわかり、うちに帰った時は別人になっていた。「与えよさらば与えられん。」徳を積む事の大切さに気づかされた。

ごご だい こうわ おが せいかつ
午後の第一講話は「拝みあいの生活」、城代洋講師によって行われた。拝みあうと言う事は相手を愛の神様と思って拝まなければならない。妻は夫を神様と言う気持ち



こうわちゅう むかいほんぶ こうし べつかいじょう
「講話中の向本部講師一別会場 (ポ語)」
Palestra do prof. Mukai em portugues - sala 9



palestrantes

たい かい たん どう こう し
大会の担当講師



むかいほんぶ こうし
向本部講師



むらかみほんぶ こうし
村上本部講師



てらまえほんぶ こうし
寺前本部講師



たかはしほんぶ こうし
高橋本部講師



みやうらほんぶ こうし べつかいじょう
宮浦本部講師・別会場



しみずこうし
清水講師



よこやまこうし
横山講師



じょうだいこうし
城代講師



のりまつほんぶ こうし ほ べつかいじょう
則松本部講師補・別会場



た まるこうし べつかいじょう
田丸講師・別会場



ひらしまこうし べつかいじょう
平島講師・別会場

おが また おつと つま かみさま い きもち
ちで拝み又、夫は妻を神様と言う気持ちで
おが ふ たり ほんとう ゆうごう すべ よ
拝むと二人は本当に融合して全てが良い
具合に行くのである。生長の家の生き方は
「有言実行」である。小さな微笑一つにも愛
ひょうげん ひょうふ たが ところ
を表現するようにすれば、夫婦互いの心の
ていこう か てい こうみょうか
抵抗がとれて家庭が光明化される。

ごご ふたり め たいけんだん さいとう
午後の二人目の体験談は佐藤エルミニ
オ講師が行い、19歳の時、母親に送って
もらった神誌がきっかけでイビウーナ練成
どうじょう い けっしん まつだ みよし せんせい はなし
道場に行く決心をし、松田巳代志先生の話

き かんどう に ほんじん ねん せ わ
を聞き感動した。日本人が100年お世話
になったこの国にお返しをし、人類光明化
うんどう こくさいへいわ うんどう つた
運動、国際平和運動をもっともっと伝えた
いと決意した。

ひらた のぶひろ すば ねっしょう あと
平田信弘の素晴らしい熱唱の後、
りじ ちよう むらかみまり え ほんぶ こうし あい
理事長・村上真理枝本部講師の「愛はすべ
てを癒す」のテーマで講話が行われた。

あなた しょくぎょう どこ
“貴方はどんな職業につこうとも、何処
の任地に赴こうとも、また誰と結婚するこ
とになろうとも、取越苦勞も心配も要らぬ

のである。何故なら何処へあなたが行こうとも其処はやはり神の領土であり、神の在まさないところはなく、常に神が護られているからである。(後略)『生活の智慧 365 章』 58 ページ)

谷口雅春先生のご著書の朗読で講話は始まった。

我らの内に存在するものは、ただ神に等しき物のみである。常に神の子である事を思い出す時、感謝の気持ちが見れ、全ての人に愛を与えたい時、バラの花が咲く実相世界が現れる。美しい物を見て感動すること、その感動を与えて下さるのは、神である。(数々の美しい映像がスクリーンに映し出される) 感動する事は感謝する気持ちが湧いてくる。そして有り難い気持ちになれるのです。妻に感謝できなかったおとが結婚して 30 年ぶりに妻に対して感謝の気持ちを持てた感動的な話を交えて、

最後に「毎日感動ある生活をしましょう」と参加者全員に訴えた。

今大会最後の講話はラ・米教化総長・向芳夫本部講師の「愛の実現する世界」をテーマに話された。

愛する事は相手を尊敬することであり、欠点を見ない事である。愛する者は救われ、解放され、自由になれる。何故なら、真の愛は「神」の御心であり、「神」の御心には、束縛もなければ不自由も有り得ないからである。

教育の第一義は、正しく愛する事を教えるにある。子供が正しく自分を愛し父母を愛し、兄弟を愛する事から、幼児の魂は成長し始める。友人を愛し、隣人を愛し、学問や真理を愛し、社会を愛し、国家を愛し、神を真に愛するようになるまで霊的に、成長していかなければならない。

今年の大大会のテーマは愛に始まり愛に終わる事であり、愛の実行は必ず幸せになる。



向かって右上：
西北第 1 教化支部 一迫力ある太鼓演奏
Reg. Norte 1

ひだりうえ：
平田信弘の熱唱

Nobuhiro Hirata encanta o público com sua voz



あわ おど
阿波踊り



し かいしゃ じつこうい いん みなさま
司会者と実行委員の皆様
よろこ びようじよう
喜びあふれる表情

A alegria radiante dos apresentadores e coordenadores da Convenção



つぎつぎ らいじよう さんか しゃ
次々と来場する参加者

A chegada dos participantes

まつだ みよし せんせい せいねんじ だい ふ
「松田巳代志先生の青年時代を振り返る」青年会の皆様による寸げき劇

Apresentação do teatro " Uma passagem da Vida do prof. Miyoshi Matsuda" (Depto dos jovens - nichigo)



* 体験談 *

せいし だい きょうかし ぶ
聖市第4教化支部
みやばら かずこ
宮原 和子



みなさま
皆様ありがとうございます。

せ かい ひ るい す ば おし せいちょう
世界に比類のない素晴らしいみ教え『生長の家』の信徒として、信仰深い父母の愛に暖かく包まれて育てられた私は、何という幸せな星の下に生まれて来た事でしょう。

いま
今、しみじみと感謝の思いに浸る今日この頃の私でございます。父母は私を頭に6人の女の子を抱えて、貧しい百姓生活をしていました。

ねん はは にんめ あか にんしん
1954年に母が7人目の赤ちゃんを妊娠し、7ヶ月に入った時赤ちゃんの位置を見て貰う為に、町の産婆さんの所へ行きますと、お産婆さんは丁寧に診察して下さいから、恐ろしいことをおっしゃるのです。「赤ちゃんは元気で、双子です。手が四本、足が四本、体が二つありますが頭は一つしかありません。こういう奇形児のお産は私の手ではどうする事も出来ませんから病院にお願いして下さいと云われたそうであります。そんな馬鹿な事があるはずが無いと、父母は別の産婆さんの所へ行きましたが、そこでも、同

じ こと い
じ事を云われました。

それでも父は信じられず、最後の頼みと、持っていたお金をみんなはたいて、お医者さんに診て頂きましたところ、そのお医者さんもやはり「体は二つあるけれども頭は一つしかない双子だから、普通のお産は出来ない、病院で手術してお母さんを助けるために、赤ちゃんは可哀想だが犠牲にしないでならないから、覚悟をしておくように」と宣告をうけたのです。三人の専門の人に同じ事を云われては、さすがの父母も信じないわけには参りません。

ふ ぼ
父母はこんな大変なお産をひかえて、不便な田舎では危ないから。町へ移転する事を決めてペレイラ・バレットスの町に出ることにしました。当時ペレイラの町にあった細井製紙工場でお世話になることになって、その年の7月30日にムダンサ(引越し)しました。翌日荷物を片付けていると、細井さんの奥様から「今夜誌友会の集まりがあるから西田さんもいらっしやい」と誘われ父母は参加しました。今思えば神様の救いの御手が差し伸べられて居たのでございませぬ。其の時の誌友会で今は亡き千種美智

さそ さんか せいねんかい にゆうかい すす
を誘って参加したり、青年会に入会を勧めたり、楽しい、楽しい青年会運動をしておりました。

1966年青年会で知り合った主人と結婚し、3人の息子と4人の娘を授かりました。幸せな生活を送っていた私に突然試練が襲いかかりました。

さんなん う げつ とき のうまくえん
三男が生まれて8ヶ月の時に、脳膜炎にかかったのです。常識ではこの病気は死ぬか、又治っても後遺症が残って正常にはならないと云われました。私を導くために、こんな幼けない小さな子がこう言う苦しい姿を現して、教えていてくれるのかと思うと申し訳なく、涙が止まりませんでした。でも生長の家で「神の子人間完全円満病気本来無し」の真理を教えて頂いているので、み教えを信じ、完全円満の実相が現れますようにと、それこそ真剣に祈りました。又私自身いろいろ反省いたしました。

ちち じよげん てがみ いただ たにぐせんせい
父からも助言の手紙を頂き、谷口先生のみ教えは絶対に間違いないと励まして下さいました。毎日健康で喜んで遊んでいる子供の姿をはっきりと描きながら、家中で真剣にお祈りしておりますと、45日目に子供はニコニコと笑顔で元気に帰って来ました。何の後遺症も残らず、今では立派な大人に生長しております。こう言うように色々な奇跡と言えるおかげを頂いて、毎日幸せな生活を送らせて頂いております。これからの私の人生は光明化運動に全身全霊を傾けて、尽くして生きたいと念願しております。

みなさま
皆様ありがとうございます。

ねん がつ か ぜんこくたいかい はつびょう
(2011年7月3日一全国大会で発表)

お こうし にんげん かみ こ にくたい せいめい
雄講師の『人間は神の子で肉体ではない生命である』という力強い真理のお話を、細かく分かりやすくお話下さるのを聞かせて頂き、誌友会が終わってから、個人指導をして頂きました。先生は「神の子が神の子を生むのですから、なにも心配はいりません。神様の御業はただ善あるのみです」と力強いそして愛深い千種美智雄講師の、ご指導を頂き初めて聞いた『生長の家』のみ教えを母はそのまま素直に信じました。それから二人分の産着、おむつなどお産の用意です。いよいよお産の日です。朝4時半に父に起こされ、早くお産婆さんと呼んで来るようにいわれ走って行きました。

お産婆さんはすぐ行くから早くお医者さんを呼ぶようにと云われたので、父に云うと「医者と呼ばなくてもよい。でもお産婆さんには、もう呼んでであると云っておけ」と云われました。細井先生が『神想観』をして下さり、奥様もお手伝いにきて下さいました。

お産婆さんは、お医者さんはまだか、お医者さんはまだかとうろたえていましたが、父はもう呼んであるからそのうちに来ると、なだめていました。

いよいよ時間が来て生まれたのは、立派なおとこ、ひとりでした。父母の喜びは言葉に現すことも出来ない程でした。

救われた、親子共々救われたと、父母はそのまま入会し、それからは講演会に、練成会に、愛行にと報恩感謝の生活に明け暮れ、み教えの発展の為に一心に尽くしました。

当然私も父母の感化を受けて、このみ教えならではの、イビウーナ特別青年練成会やちほうれんせいかい またせいねんいちにちけんしんかい ともだち
地方練成会、又青年一日見真会にと、お友達

地方講師インターネット通信勉強会



伝道本部別館での勉強会風景

2011年度の地方講師勉強会は7月17日、伝道本部別館C室にて行われた。担当講師は石井ルイス本部講師補、横山豊講師、大越玉恵講師で、昨年引き続きインターネット動画視聴可能な教化支部は各地元会館で受講した。聖經読誦は池田征治講師、司会は野村輝男講師により、午前9時に開会し、石井ルイス本部講師補の開会の祈りと中村厚子講師の開会の挨拶で始まった。

まず、横山雅志講師は体験談で熱心な母親により、子供会からみ教えの環境の中

で育った。壮年になってミツワ支部に入会、今、日本語部の壮年部長の役をいただいているのはそのお陰だと語った。

第一講話 横山豊講師：「久遠不滅の生命を見つめて」病気や老化という状態は知性の表面の迷いの雲のようなものであるとユーモアを交えて説かれた。

続いて、体験談は伊勢島麗子講師：講師会長を拝命して初の献労練成会への参加運動で、信念をもって運動したところ、多くの人々が動いてくれ、目標が達成できたとの喜びを語った。

第二講話 石井ルイス講師：「永遠価値の生活学」生長の家は完全なる神によって動かされている唯神実相世界観を説いていと講話された。

昼食後は質疑応答があり、インターネットで送られてきた質問と会場の質問の双方に3講師が明快に答えられ、受講者の拍手を浴びた。

第三講話大越玉恵講師：「本当の教育について」教育は内に宿る天分を引き出すものである。長所を見出してほめることでその



ソロカバナ第1教化支部の勉強会風景

方に子供が伸びると話された。第四講話 石井ルイス本部講師補：「祈りの根本法則について」祈りとは自己を空しくして神の生命がそこに現れるようにと強く願うことであると結ばれ、本日の受講者を賞賛されたあと、世界平和の祈りを全員で行った。

この会場での受講者が37名、各地会場が209名、実行委員をいれて全253名の受講者であった。リンクの数は23。最後に高らかに使命行進曲を斉唱して終了した。



聖市第1教化支部の勉強会風景



パラー教化支部の勉強会風景

「インターネット通信勉強会は非常に良かったと全員喜んでおりました。」と上岡尚昭講師は語った。講師14名、伝道委員5名、計19名の受講者の参加があった。

連載・真理の勉強(第2回)

『新しいチャンスするとき』

谷口清超先生著



耐え難いこと

たしかに入れ歯をしていると、合わなくなつて音が出たりする。食事のたびごとに口を洗い入れ歯も洗わないと気がすまない。だから入れ歯を湯呑みの中で洗ったり、時には風呂の中で洗ったりする人もいる。他人がみると汚らしくてやり切れないだろう。スープやコーヒーをものすごい音を立てて吸う人もいるが、若者でもテレビの商業影響を受けて、行儀の悪い恰好で“むさぼり食う”人がいるのだ。それを心の中で咎めると、ストレスが溜って、健康にも悪影響を及ぼすだろう。

この質問の回答者は、数学者でエッセイストの藤原雅彦さんだったが、次のように答えておられた。

『年配者に、テーブルマナーのなっていない人が多いのは事実です。これでもかこれでもかと、すごい音を立ててスープをすすったり、食事を終えると他に食べ終わっていない人がいるのに、入れ歯を外して茶碗の中で湯洗いしたりする人もいます。音に敏感で、清潔好きな若者には、我慢で

きないことと思います。

しかし年配者が若い世代を不快に思うことも、同様にしばしばあるのです。私自身、電車内で脚を投げ出して座っている若者のむこうずねをけとばし、「あいつにオレむかついてんだよ」などと言う女子中高生を張り飛ばしたいのです。そして本を読まずテレビやテレビゲームばかりにかじりつく若者を、片端から捕まえ、絶海の孤島に数年間送り、強制読書を課したいのです。

若者が年配者をどこか不潔な頑固者と思うのは仕方ないことだし、年配者が若者を未熟な不心得者と思うのも当然のことなのです。互いをため息とともに見る、というのは太古の昔から連続と続く人類のしたきりであり、健全な姿でもあるのです。耐え

万物に感謝

この最後の一句が、とても効果的だ。この世の中は、神様の世界ではなく、人間の作った“仮の世界”である。仏教では「唯心所現」ともいうが、吾々の心が仮に

現し出す世界なのだ。だから「いやな心」や「未熟な心」を持つ人が多ければ、乱れた、いやな、不調和な世界が現れて来る。そこで世の中の善人たちは、忪えたり、我慢したりしなければならぬ。時にはムシズが走る思いがすることもあるだろう。しかしこのようにして我慢ばかりしているのも難しい。ストレスの増大から、肉体的にも限界がある。それ故、生長の家では、忪えたり、我慢するのではなく、「感謝せよ」と教えているのだ。即ち『大調和の神示』にあるように、

『天地万物と和解せよとは、天地万物に感謝せよとの意味である。本当の和解は互いに忪え合ったり、我慢し合ったりするのでは得られぬ。忪えたり我慢しているのは心の奥底で和解していぬ。感謝し合ったとき本当の和解が成立する。神に感謝しても天地万物に感謝せぬものは天地万物と和解が成立せぬ(前後省略)』

と教えられている。このように天地万物(全ての動植物や人を含む)に感謝するには、現象に現れている見かけの善悪に捉われていないと、それはできない。だから肉眼や五感ばかりにたよらず、その奥にある「実相」を心でみる練習をするのである。つまり人々や万物の「本当の相」「実在人間」「神の国」の完全さ、すばらしさ、「真・善・美」をみるのである。この練習が「神想観」と呼ばれる瞑想法であるから、日々これを行っていると、自然に忪えなくても相手のよさ

が分るようになってくる。

しかしこの練習も永続的に行わないといけない。どんな練習でもそうだが、五官の感覚を超えた無限次元の「神の国」をみる練習だから、今生は勿論のこと、次生も後生も練習を続けるのだ。これはどのような仕事や訓練でも、全て今生だけの練習では限界がある。それはこの一生は長くても約百年であり、いくら永生きしたといっても高が知れている。

「もうこれで充分、奥儀を極めた」とか「悟った」などといえるようなものではない。永遠世界の実相を、単に百年や二百年間で全てみられるようになるというのは、おこがましい話であろう。

では現世以上の人生を、どうやってすすめるのか。悟り切ったとか、奥儀を極めたとか言って、のほほんとしているのか。誰かから教えられたり伝えたりして“学習”はもうやめたのか、修行を停止したかということ、そんな生ぬるい話はどこにもないのがある。「求道即伝道」であり、「求道」はなくて「伝道のみ」ということはあり得ないからだ。

例えばイエス・キリストが十字架にかかって息絶えられる直前の場面を、「マタイ伝」第二十七章にはこう記されている。

『三時ごろイエス大声に叫びて「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」と言い給う。わが神、わが神、なんぞ我を見棄て給いしとの意なり。そこに立つ者のうち或る人々こ

れを聞いて「彼はエリヤを呼ぶなり」と言う。
 直ちにその中の一人はしりゆきて海綿をとり、
 酸き葡萄酒を含ませ、葦につけてイエスに
 飲ましむ。その他の者ども言う「さて、エリヤ
 来りて彼を救うや否や、我ら之を見ん」
 イエス再び大声に呼わりて息絶えたまう』と。
 このエリヤを求めらるイエス・キリストが、

「神の子」ならば、当然神を求められるので
 あって、それは人の子が人の親を求めると
 同じではないか。その求神や求道には
 “限りがない”のである。しかも伝道にも
 限りがない。もう「やめた」などという愚かな
 人が「神の子・人間」であるはずがない
 からである。

- (01) やり切れない não poder suportar, aguentar (02) 行儀 comportamento, a maneira de se portar
- (03) むさぼり食う devorar a comida (04) 咎める censurar (05) 悪影響 influência má
- (06) 回答者 a pessoa que respondeu (07) 数学者 matemático (08) 敏感 sensível
- (09) 清潔好き gostar de asseio, limpeza (10) 不快 desagradado (11) むこうずね canela
- (12) 張り飛ばし dar um bofetão e atirar para longe (13) 片端 uma ponta
- (14) 絶海の孤島 ilha perdida (15) 強制読書を課す impor leitura forçada
- (16) 未熟 imaturo, inexperiente (17) 不心得者 pessoa que não tem conhecimento geral
- (18) 連綿 ininterrupto, contínuo (19) 耐え難きを耐えなさい tolere o intolerável, o insuportável
- (20) 一句 frase (21) 効果的 eficaz (22) ムシズが走る grande contrariedade (23) 増大 aumento
- (24) 善悪 o bem e o mal (25) 瞑想法 prática da meditação (26) 永続的 permanente, contínuo
- (27) 無限次元 dimensão infinita (28) 高が知れている coisa insignificante
- (29) 奥義を極めた atingi a sabedoria (30) おこがましい presunçoso
- (31) 求道即伝道 pregação em busca da verdade (32) 海綿 espécie de esponja vegetal(natural do mar)
- (33) 葦 espécie de palha (34) 愚かな人 um tolo, idiota

◆ 本当の信仰と云うものは、父を知り自分を知ることから始まらねばならぬ。
 父とは神、自分とは神の子だ。 智慧の言葉

06/06/2011 ~ 07/21/2011

圓環ご協力者ご芳名

(単位・レアイス)

聖市 2	重松 富子 様	30,00
聖市 1	ヴァルガス白鳩会 様	100,00
パラナ 5	佐藤くに子 様	50,00
々	国府 増二 様	100,00
本部	塩椎俳句会 様	200,00
聖市 6	荒木 ハツメ 様	50,00
聖北 1	森西 茂行 様	50,00
聖市 2	藤田町枝 様	50,00
々	谷田 美代子 様	20,00

聖市 6	相・白会 様	200,00
聖市 4	ジャ・ダ・オリヴェイラ相・白会 様	100,00
聖市 1	丸林 幸子 様	30,00
聖市 2	重松 富子 様	30,00
パラナ 1	古沢 哲男 様	20,00
パウリスタ 1	教化支部 様	200,00
ノロエステ 1	山崎 賢一 様	100,00
々	白石かぞし 様	100,00
パウリスタ 1	教化支部 様	200,00

各教化支部、又多くの会員の皆様から円環へのご芳志を頂き、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

地方便利



聖市第2教化支部で、塩椎の会一日見真会が、山元治彦講師、内田静香講師の指導により、2010年9月26日に開催された。参加者数は92名。

生長の家 塩椎の会 俳壇

二度と見ぬ移民百年移住祭 仲宗根朝春
 聖ヨハネ冬至よろしく祭りの夜
 幼少時砂蚤取りし過去おもう
 向日葵咲いた大きな時期はずれ 立川 ゆう
 葡萄垂れ大きな房に色着いて
 大いなる貫禄ありし牛しずか
 寒鯉の油のりしを焼いて食ぶ 坂本 君枝
 紅葉せる路の一本日傘の樹
 移民着き迎への人の待ち遠し
 寒鯉の永ぐ長崎練成会 荒巻 重乃
 師と仰ぎともに明け暮れ二十年
 姑語る上げ膳下げ膳移民船
 山村の菜園の秋のコーベ摘む 村松 里乃
 秋天にウルブ高く飛ぶ散歩道
 移住地も灯消しかに冬銀河
 なよなよと寒鯉泳ぐ午後の池 城 良子
 柿落葉ふみしめ急ぐ帰り道
 冬至の日もつぶ一枚足して寝る
 柿に飽きマンガに飽きて秋は逝く 矢島みどり
 冬至粥熱あつ美味し寒の夜
 冬至粥南瓜に鶏入れ祖母の味



ちほうだよ 地方便り

みなみ しゅうだい きょうかしぶ
 南 州 第2 教化支部 (Dourados) で、
 そうねん わかほと にちけんしんかい
 壮年・若鳩一日見真会が去る 2011 年 5 月
 にち おおごしまさよしこうし おおごしたまえ こうし し どう おこな
 29 日、大越善義講師と大越玉恵講師の指導で行われた。参加者数は 129 名。



さ がつ にち
 去る 6 月 12 日、ABC 教化支部で
 きょうかしぶ そうねん わかほと にちけんしんかい おこな
 壮年・若鳩一日見真会が行われた。担当講師は
 みやぎきえいと ほんぶ こうし の なか
 宮崎映人本部講師、野中メイリ講師。参加者数は 235 名。



きょうかしぶ
 ABC 教化支部で、2010 年 8 月 22 日、
 おおしましろうほんぶ こうし ほ おおしままさこ こうし
 大島正太郎本部講師補、大島雅子講師の
 し どう そうねん わかほと にちけんしんかい おこな
 指導による、壮年・若鳩一日見真会が行われた。参加者数は 190 名。

逝きし師の歳時詠大事に句作せん 木村都由子
 起律して君が代唄へと法列出し
 初期移民の苦勞は語り草移住祭
 空路来て郷愁あまり無き移民 香山 和栄
 温顔の永遠の旅路の四温晴
 冬ぬくし鯉寄り指にキツスせり
 柿落葉使命果して土になる 立石 松男
 ブラジルに感謝は尽きめ移住祭
 骨折の廃馬を狙う群れウルブ
 バス満員シヨールの美女と同席す
 炭竈の煙りが絶えし聖南西
 湯田南山西
 新米を食べて食事が楽しみに 森西 茂行
 隼人瓜歯切れの良きこと味噌漬に
 血圧を下げる働き隼人瓜
 日溜りに椅子を持ちこみ読書とす
 移り来て吾子に守られ助けられ
 冬の夜鍋囲む声穏やかに 大沢 晴子



◆ 物を生かして使え。しかし
 生命はもつと大事だ。物を大事に
 しようと思つて、人間を不大事に
 する物は、本末を顛倒するもの
 だ。一枚の皿を破つたと云つて、
 人間をガミガミ叱るな。人間は
 皿より尊い。
 (智慧の言葉)



でんどうほんぶ しおつち かいはいだん
 伝道本部 塩椎の会 俳壇

だい かい せい ちょう いえ ぜん こく たい かい
 第 25 回 ブラジル 生長の家 全国大会



しろはとかいはいんゆうし だんたいぶ よう
 白鳩会会員有志の団体舞踊



せいし だい きょうかし ぶ
 聖市第 2 教化支部のコーラス

しろはとかいはいんゆうし だんたいぶ よう
 白鳩会会員有志の団体舞踊



きんりゅうかい はなやぎりゅう
 金龍会「さくら」花柳流

だい きょうかし ぶ だんたいぶ よう
 セントラル第 2 教化支部の団体舞踊